

1. 評価報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	247010666
法人名	(有)ヒューマン・ケア・ステーションみえ
事業所名	グループホーム こんべいとう
所在地 (電話番号)	桑名市星見ヶ丘6丁目919番地 (電話) 0594-33-4131
評価機関名	三重県社会福祉協議会
所在地	津市桜橋2丁目131
訪問調査日	平成 19 年 10 月 31 日(水)

【情報提供票より】 (H19年10月5日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 4 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 5人, 非常勤 5人, 常勤換算 7人	

(2) 建物概要

建物構造	木造り		
	2階建ての	1階	2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	5,5000~68,000 円	その他の経費(月額)	24,000 円~
敷金	(有) 100,000 円	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 500 円
	夕食	500 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(10月5日現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1		名	要介護2 2 名
要介護3	2 名		要介護4 5 名
要介護5		名	要支援2 名
年齢	平均 87 歳	最低 82 歳	最高 101 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	桑名病院 坂井橋クリニック 星見いとう歯科
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

新興住宅地の一角に位置し、高齢者の生活に配慮の行き届いた設計と設備の整った事業所である。
『ゆとりある人生をあなたらしく』を理念に経験豊かな代表や管理者の下、職員一同が利用者一人ひとりの思いや尊厳を大切にしたい『あなたらしい』生活を重んじた支援が日々実践されている。職員の退職もほとんど無く、安定した介護体制が築かれており、本人・家族の要望に副ってターミナルケアまで対応できる質の高い介護も実施されている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	介護計画見直しの記録方法について、職員一同で話し合いの上、モニタリングの記録方式を分り易く改善し、それを踏まえた計画見直しに組み、簡潔な計画書への記録が実行されている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全員で実施・検討されており、自己の介護実践の振り返り・確認に資している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	その時々(6回開催済み)の議題をメンバーで討議し、情報提供や助言を受けている。議事録も整備され、ミーティング等で職員間で討議内容を話し合い、具体的なサービス向上に繋げるよう図っている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族と接する機会(家族訪問時・各種報告時・家族会等)に問い掛け話し合う事で意向の把握を図っており、介護や運営に反映できるよう努めている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入しており、地域清掃や防災訓練・夏祭り等へも参加し地域住民との交流に力を入れている。災害時の協力体制も話し合われている。

2. 評価報告書

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	制度改正の意義を代表はじめ全職員で話し合い、理解されている。運営推進会議や併設(隣接)事業所(通所介護・訪問介護)等の機能も活用した地域との関係性強化を根本的理念(ゆとりある人生をあなたらしく)の中に位置付けている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の「あなたらしく」を常に職員が意識をして、一人ひとりの尊厳を大切に介護の実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、地域清掃や防災訓練・夏祭り等にも参加し地域住民との交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎年自己評価は全職員で実施検討しており、自己の職務実践の振り返りや確認にも資されている。また、外部評価の問題点は職員間で幾度も話し合われ改善されている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	平成18年9月発足以来6回開催されており、時々の議題を各職種のメンバーで討議し、情報提供や助言を受けている。議事録も整備され、ミーティング等で話し合われ具体的なサービス向上につながる努力をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町担当者とは親しく情報・意見交換を行っており、代表は市主催の介護関連講座の講師も受託している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭管理は立替方式で月例利用料請求時に明細を報告し決済されている。それと共に暮らしぶりも担当職員からの手紙として同封報告されている。健康状態の変化にはその都度、家族に報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	事業所内外の相談窓口の告知や意見ボックスの設置はされているが、意見・苦情等はほとんど出されていない。家族訪問時や家族会開催時に話し合う事で意向の把握が図られており、反映できる運営に努めている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の交代はほとんど無い(開設以来4年6ヶ月で2名)。今期は出産で1人退職したが、新人職員と1ヶ月の引継ぎ期間を経て交代されており、安定したケアが確保されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	経験豊かな代表や管理者がスーパーバイザーとして職員のアドバイスに当たっており、各種外部研修にも職員の能力・必要性に応じ順次受講させている。受講内容は、ミーティング等で他の職員へ報告され職員間で共有されている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に参加し、研修会や見学会を通じ交流を図っている。近くのグループホームとは災害時の協力体制を構築している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用待ちの段階から併設(隣接)の通所介護や訪問介護を利用してもらう等、馴染の関係を築き、入居時の不安や混乱の解消を図っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は実の親・祖父母と同じように家族感覚で接しており、利用者の昔話に感銘したり先輩として敬服することも多く、共に支えあって穏やかな生活を営んでいる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「あなたらしく」を介護の基本に置き、常に一人ひとりの暮らし方の希望や意向を察するように努め、それに副った支援が心掛けられている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	管理者が家族の意向や主治医の見解を整理し、担当職員と担当者会議を開き課題を抽出し、具体的な介護計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月一人ひとりの計画がモニタリングされ、変更や継続されている。計画書にも記録されており、変更時には家族とも話し合い同意を得ている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院の受診支援や思い出の場所・馴染の場所への外出支援が行われている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	要望に副った通院支援と共に通院が難しくなった利用者には主治医の往診を依頼している(3箇所的主治医往診有り)。 訪問看護ステーションと医療連携体制を整えており、健康管理や医療面での手厚い支援が11月から開始される。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族の希望を最優先に主治医と相談しながら様態に即して話し合いを重ね、本人・家族・職員が納得できる方向で終末期介護の限界を決定している。主治医・家族・職員の協力の下、2人の利用者を看取っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの尊厳を大切にした介護が徹底して行われている。 個人記録等の資料は事務室に適切に保管されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	理念の「…あなたらしく」を実践した介護が日々行われており、職員間で家事は後回にしても一人ひとりに寄り添った介助を徹底するよう意思統一されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事準備や片付けは、手伝える人が少なくなっているが、職員は能力や意欲を上手く引き出し支援しながら行なって貰っている。食事中も一緒に食卓を囲み料理の感想など会話を楽しみながら行き届いた介助が行われている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	隔日入浴を基本に毎日夕方に準備され、希望に副った入浴支援が行われている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者の出来る事・得意な事等を十分理解しており、それを活かした楽しみ事や出番を発揮してもらっている。「ありがとう」「助かります」との気持ちを伝える事で利用者には『自分も役立っている』と感じてもらえる介護が心掛けられている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	絶えず職員が寄り添った介護が実践されており、希望に応じ時間に関係なく散歩等に付き添っている。外出する事の少ない利用者も併設デイサービスの利用者との交流を通じ外部の空気を感じられる日々を送っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間以外施錠されていない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1回、消防署の協力を得て防災・避難訓練を実施している。また、地域の防災訓練にも参加し協力を得られるよう話し合っている。 災害用食料等の備蓄もされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が作成したメニューを基に、利用者の希望や季節の食材・果物を取り入れたバランスの良い献立が提供されている。個々の摂取量は日々記録され、様態に即した支援がなされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	事業所内は高齢者の生活に配慮の行き届いた設計・設備が整えられており、全館一括空調・換気管理され、快適な環境が作られている。季節を感じる草花や装飾も施され、いたる所にソファや椅子が置かれ自由に過ごせる居場所がつくられている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物品が持ち込まれ、思い思いの居室作りがなされている。		